

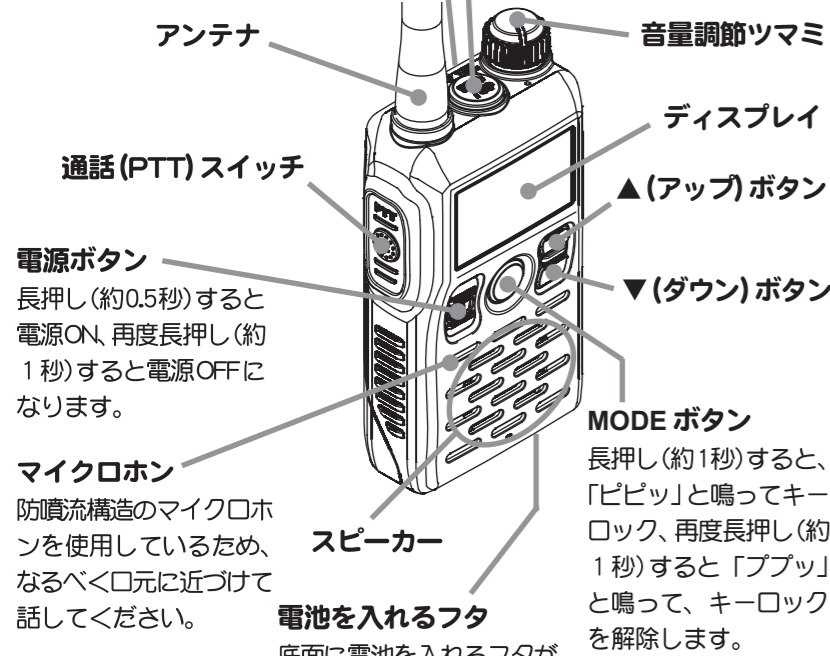


## 各部のなまえ

### MIC/SP ジャック

オプションのスピーカー / マイクホンなどを接続する端子です。  
● オプションを使用しないときは、キャップをしっかりと取り付けてください(取り付けられない状態で使用すると防噴流にはなりません)。

### ハンドストラップ取り付け穴



## 電池の入れかた

- ① 底面フタのロックをスライドして、ロックを解除して開けます。
- ② オプションのニッケル水素電池 (FNB-107) または市販の単三形アルカリ乾電池を(－)側から入れます。電池の極性(＋)を間違えないように、注意して入れます。
- ③ 底面フタを押しながらロックをスライドさせ、確実に押し込み閉めます。



- オプションのニッケル水素電池 (FNB-107) を使用するときは、必ず充電してください。
- オプションのニッケル水素電池 (FNB-107) の充電のしかたは、オプションの「充電器セット VAC-107」の取扱説明書をご覧ください。
- 長時間使用しない場合は、ニッケル水素電池 (FNB-107) またはアルカリ乾電池を取り外しておいてください。
- ときどき底面フタの端子と電池の電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良となり正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。
- 電池を交換するときは、電源を切ってください。
- オプションのニッケル水素電池 (FNB-107) または市販の単三形アルカリ乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。故障や火災の原因になります。

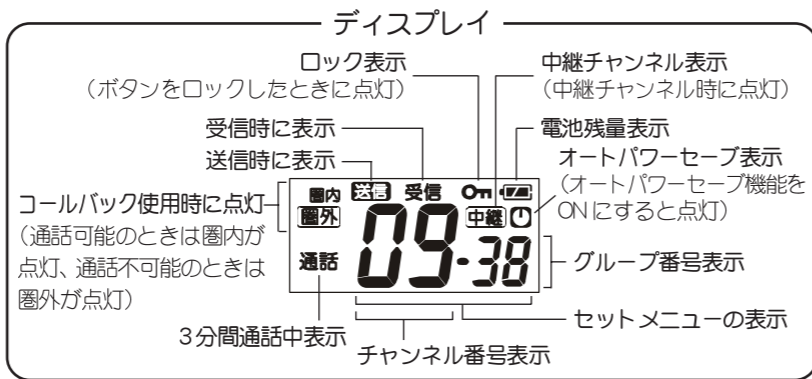
### 使用時間の目安

使用できる時間の目安\*は次のとおりです。  
ニッケル水素電池 (FNB-107) ⇒ 約 24 時間  
アルカリ乾電池 ⇒ 約 30 時間

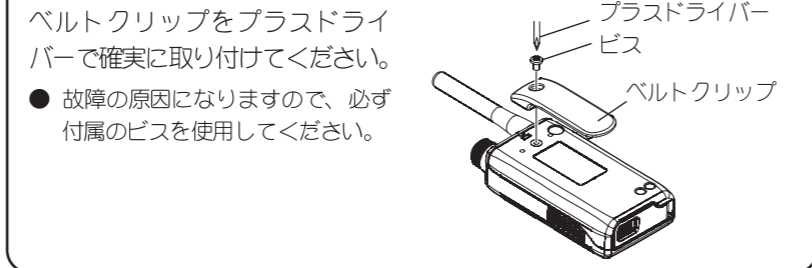
電池残量はアイコン表示で知らせます。

- ⇒ まだ使えます。
- ⇒ 少しなくなりました。
- ⇒ 残りわずかです。
- ⇒ すぐにニッケル水素電池 (FNB-107) を充電してください。(すぐに電池を交換してください。)

\*6秒送信、6秒受信、48秒待ち受けの測定条件になります。左記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。



### ベルトクリップの取り付け



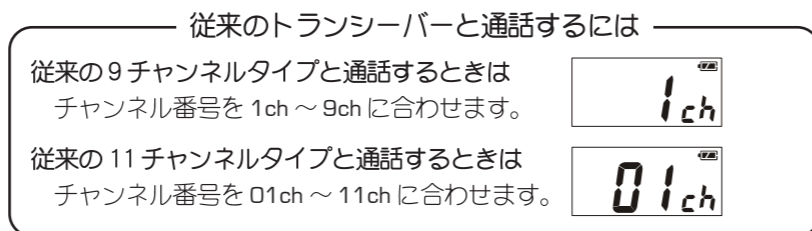
## 基本的な通話のしかた

本機には、周囲の状況に応じて選べる2つの通話方法(ノーマルモード、グループモード)があります。通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の「グループモードの設定」を行ってから、下記の方法で通話してください。

- ① 電源を入れる  
電源ボタンを長押し(約0.5秒)すると、電源が入ります。「ピッ」と電子音が鳴ります。

- ② チャンネルをあわせる  
▲または▼ボタンを押して、相手と同じチャンネルにします。

- ③ 押しながら話す  
通話(PTT)スイッチを押しながらマイクホンに向かって話します。  
・ディスプレイに「送信」と「通話」が表示されます。  
・通話(PTT)スイッチを離すと、相手の話を聞くことができます。  
・防噴流構造のマイクホンを使用しているため、なるべく口元に近づけて話してください。

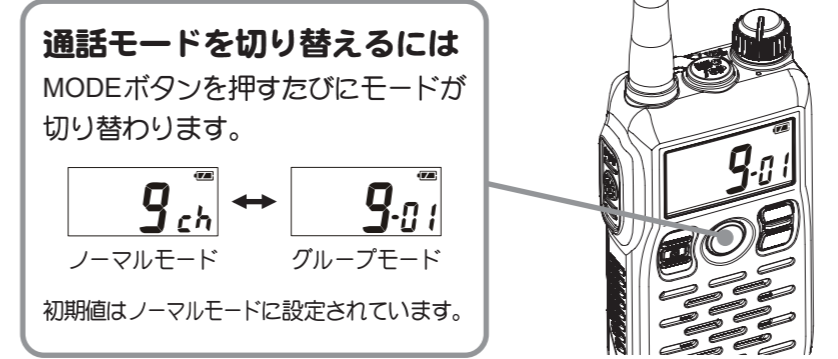


- ◎ ▲または▼ボタンを押すと、チャンネルは下記のように変わります。  
→ 1 ↔ 2 ↔ 3...7 ↔ 8 ↔ 9 ↔ 01 ↔ 02 ↔ 03...09 ↔ 10 ↔ 11 ←

- ◎ 相手の声を聞きながら、音量調節つまみで音量を調節してください。
- ◎ 相手の声が途切れて聞こえるときは、下記の「一時的にモニターをする」を参照してください。
- ◎ 連続して送信できる時間は3分以内で、その間ディスプレイに「通話」が表示されます。3分間連続して送信続けると、送信は自動的に停止します。なお、送信が停止する30秒前になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ピピピッ」と警告音が鳴ります。また、送信が停止した場合、その後の2秒間は通話(PTT)スイッチを押しても「プープープープ...」と警告音が鳴り送信できません。
- 相手の信号を受信しているときは、送信できません。ディスプレイに「受信」が表示されているときは、通話(PTT)スイッチを押しても「プープープープ...」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

## 通話モードの切り替えかた

通話を行うモード(通話モード)として、次の2通りの方法があります。周囲の状況に応じて使い分けてください。  
ノーマルモード ⇒ 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき。  
グループモード ⇒ 他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき。  
チャンネル番号とグループ番号が一致すると通話ができます。



## グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が聞こえてわずらわしい」そんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定しておく仲間同士の音声だけが聞こえます。グループモードにすると、受信終了時の「ザーツ」音をカットして聞きやすくなります。オプションのタイピンマイクなどを使用される場合は、グループモードで使用されることをおすすめします(詳細は「セットメニューによる機能設定」を参照ください)。

- ① MODE ボタンを押す  
グループモードにします。
- ② 電源を切る  
電源ボタンを長押し(約1秒)すると、電源が切れます。
- ③ MODE ボタンを押しながら電源を入れる  
セットメニューの「GP01」が表示されます。

- ④ グループ番号を選ぶ  
▲または▼ボタンを押して「01~38」の中から任意のグループ番号を選択します。
- ⑤ 通話(PTT)スイッチを押す  
セットメニューの設定が終了します。左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。他人の通話が聞こえる場合は、グループ番号を変更してください。

## ボタンをロックする

誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。  
● ボタンをロックすると、セットメニューによる設定の変更やオールリセットもできなくなります。これらの操作は、ロックを解除してから行ってください。

- ボタンをロックするには  
MODE ボタンを長押し(約1秒)すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。「On」が点灯します。再度 MODE ボタンを長押し(約1秒)すると、「ブッ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。「On」が消えます。

## 一時的にモニターをする

受信信号の状態を、一時的にモニターする機能です。  
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。  
② ▼ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

モニターを解除するには、  
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。  
② 再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

## 通話可能か常時チェックしたい - コールバック機能 -

グループモード時に、あらかじめ下記の設定を行っておくと、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」、常時チェックしながら通話ができます。

- ① ボタンを押してグループモードにします。仲間同士で決めたグループ番号とチャンネル番号になっているか確認します。
- ② 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ③ MODE ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ④ MODE ボタンを1回押して「cb-oF」を選択します。
- ⑤ ▲ボタンまたは▼ボタンを押して「cb-on」にします。
- ⑥ 通話(PTT)スイッチを押します。セットメニューの設定が終了し、ディスプレイに「圏外」が点灯します。
- ⑦ 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

■通話可能か確認するには(電子音とディスプレイの表示で確認できます)

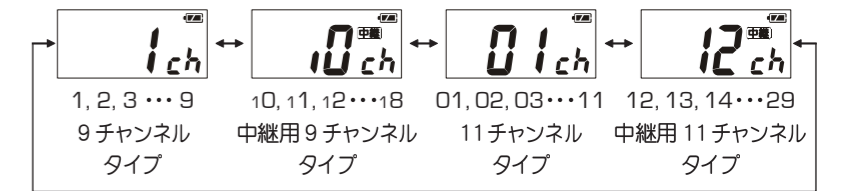
	状況	電子音	表示
通話可能	・相手と通信できる範囲にいる ・相手の電源が入っている	約1分後に一度だけ「ピピッ」と鳴る	「圏内」が点灯する
通話不可能	・相手と通信できない場所にいる ・相手の電源が切れている	約1分後に一度だけ「ブッ」と鳴る	「圏外」が点灯する

○ 同じチャンネルで同じコードナンバーが他の使用者に使われているときは、「グループモードの設定」を参照して、仲間同士で他のグループ番号に切り替えてください。  
● 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、受信状態(ディスプレイに「受信」が表示)になり、通話できません。

## 通話距離をのばすには - 中継機能 -

途中にビルなどの障害物がある場合や、相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、当社の中継器「RP88」を中間点に設置することにより、交信範囲が広がります。なお「RP88」の詳細については、お買い上げいただきました販売店または営業所 / サービスセンターにお問い合わせください。

- 設定のしかた  
下記の操作を行うと、中継機能用のチャンネル(合計27チャンネル)が追加されます。  
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。  
② ▲ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。中継機能用のチャンネルが追加されます。  
③ ▲または▼ボタンを押すたびに、チャンネル番号が変わります。



- 設定を解除するには  
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。  
② ▲ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。  
■通話のしかた  
① ▲または▼ボタンを押して、中継用チャンネルの中で「RP88」と同じチャンネル番号に合わせます。  
② 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。  
○ グループモードを使用することができます。  
● 当社指定の中継器のみ使用可能です。